

# 予 算 要 求 資 料

令和 8 年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：情報化推進費

## 事業名 リアルタイムデータ提供基盤整備事業

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

総合企画部未来創成局

電話番号：058-272-1111(内2724)

デジタル戦略推進課 デジタル推進係

E-mail：c11178@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 10,032 千円 (前年度予算額： 65,017 千円)

### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	65,017	26,141	0	0	0	0	0	0	38,876
要求額	10,032	0	0	0	0	0	0	0	10,032
決定額									

## 2 要 求 内 容

### (1) 要求の趣旨(現状と課題)

県では、「官民データ活用推進基本法」に基づき、県が保有するデータの活用を促進するため、令和 2 年度に「リアルタイムデータ提供プラットフォーム」(P F)を構築し、利用者ニーズの高い河川水位や交通規制情報等の動的データを放送事業者等に提供してきたが、令和 7 年度に P F を再構築し、令和 8 年度からは汎用性のあるデータ連携基盤として運用する。

同時に、県民に対して分かりやすく利用しやすいデータ公開の手段として、データを地図上で表示できる地図ダッシュボードを運用する。

### (2) 事業内容

データ連携基盤及び地図ダッシュボードの運用保守を行う。

#### (データ連携基盤の機能)

- ・ 県が持つ各種システム(河川情報、土砂災害警戒情報、被害情報、道路情報、道路雪情報)とデータ連携を行い、API公開と放送事業者へのデータ提供。
- ・ 公開可能なデータを「岐阜県オープンデータカタログサイト」と連携
- ・ 連携したデータを「岐阜県地図ダッシュボード」と連携

#### (地図ダッシュボードの機能)

- ・ オープンデータとして公開しているデータのうち、緯度経度情報を持つデータを地図上に表示

(3) 県負担・補助率の考え方

県10/10

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	10,032	データ連携基盤運用保守、地図ダッシュボード運用保守
合計	10,032	

決定額の考え方

4 参 考 事 項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・岐阜県デジタル・トランスフォーメーション推進計画（R4.3）

第2章 目指す姿と政策の方向性

I 行政のデジタル化

1 行政手続のオンライン化・業務最適化

(3) データの利活用

① DX推進のためのシステム最適化

- ID・データ連携の在り方、AI利活用の検討

(2) 後年度の財政負担

- ・データ連携基盤の運用は令和8年度から令和12年度までの債務負担。

(4) 事業主体及びその妥当性

県のDX推進に係る取組み（データの利活用）であるため、県が主体となり実施することは妥当である。

# 事業評価調書（県単独補助金除く）

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

「リアルタイムデータ提供プラットフォーム」を利用して、放送事業者等の民間事業者に安定した情報提供をおこなう。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R2)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R12)	達成率
リアルタイムデータ提供基盤で提供するデータ数	8	19	10	10	10	190%

### ○指標を設定することができない場合の理由

### （これまでの取組内容と成果）

令和4年度	<p>下記5システムからリアルタイムデータの取得およびデータ提供を実施</p> <p>①河川情報システム ②被害情報集約システム ③土砂災害警戒システム ④道路情報提供システム ⑤道路雪情報システム</p>
	<p>指標① 目標：<u>10</u> 実績：<u>19</u> 達成率：<u>190</u> %</p>
令和5年度	<p>下記5システムからリアルタイムデータの取得およびデータ提供を実施</p> <p>①河川情報システム ②被害情報集約システム ③土砂災害警戒システム ④道路情報提供システム ⑤道路雪情報システム</p>
	<p>指標① 目標：<u>10</u> 実績：<u>19</u> 達成率：<u>190</u> %</p>
令和6年度	<p>下記5システムからリアルタイムデータの取得およびデータ提供を実施</p> <p>①河川情報システム ②被害情報集約システム ③土砂災害警戒システム ④道路情報提供システム ⑤道路雪情報システム</p>
	<p>指標① 目標：<u>10</u> 実績：<u>19</u> 達成率：<u>190</u> %</p>

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない	
(評価) 3	雨量、河川水位、道路情報など、センサー等で取得されたデータを可視化しているが、二次利用可能なデータとして、タイムラグなく提供することが求められている。
・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない	
(評価) 3	放送事業者等の民間事業者に対し、指標以上のデータ提供を実施している。
・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている	
(評価) 2	避難情報、河川情報などのリアルタイムデータを放送事業者等の民間事業者に自動で配信する仕組みにより、データ提供の効率化を実現している。

### (今後の課題)

・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 新たなデータの収集を進めるとともに、データの利活用について広く呼びかける。
---

### (次年度の方角性)

・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 引き続き、放送事業者等の民間事業者に対し、安定したリアルタイム情報の提供を行う。
---